「誰かの安心をつくる人」が育つまちへ

高萩市 民間交通指導隊 発足50周年



「今日も あなたがいてくれて ありがとう」

地域の安全と笑顔を守り続けて半世紀

毎朝の通学路での温かい見守りや、各種行事での安全誘導など、子どもたちが何気なく過ごす日常の安全は、多くの人々の支えの上に成り立っています。

地域の交通安全の要として日夜活動を続けてきた「高萩市民間交通指導隊」が、今年で記念すべき発足50周年を迎えました。

民間交通指導隊は、市民一人ひとりの交通安全意識を高め、悲惨な交通事故を一件でも減らすことを目的に組織されたボランティア団体です。

雨の日も風の日も、暑さや寒さの厳しい日も、市民の「安全・安心」を第一に考え、長年にわたり献身的な活動を続けてこられました。

本特集を、私たちが安全で安心して暮らせるまち・高萩の未来について、改めて考えるきっかけにしていただければ幸いです。

交通指導員からのメッセージ



大髙（おおたか） 忠（ただし） さん

最初は大変だと思いますが、
やりがいのある活動です。
地域の皆さんの協力があって
こそ、続けられています。
ぜひ、一緒に活動しませんか。

子どもたちの「ありがとう」が、
私たちの元気の源です。
これからも、
１人でも多くの子どもたちを
見守っていきたいと思います。



村田（むらた） 純一（じゅんいち） さん

みんなで見守る子どもの安全

子どもたちの笑顔と安全な登下校は、地域全体の温かい眼差しに支えられています。

横断歩道前での一時停止や、毎日の見守り活動など、私たちが日常で行う「思いやり」は、次の誰かへと優しさの輪(リレー)を広げていきます。

一人ひとりの小さな意識と行動の積み重ねが、もっと優しく、安心して暮らせる高萩市をつくっていきます。





本特集のイラストは、温かみのある表現を目指し、生成AIを活用して作成しています。AIならではの生成上の都合で、よく見ると乱れているところもありますが、温かい目でご覧いただければと思います。

小学生からのメッセージ

指導隊の方々は、地区の横断歩道に立って、私たちの安全を守ってくれています。

車がたくさん通る場所でも、「車が通るよ。気をつけて」と、優しく教えてくれるので、とても安心します。

いつも、私たちが安全に学校へ行けるようにしてくださり、本当にありがとうございます。

『ながら見守り』お願いします！

いつもの暮らしに、ちょっとした見守りを

○犬の散歩をしながら、子どもたちを見守り
○買い物や外出をしながら、通学路の危険箇所をチェック
○庭の手入れや家の掃除をしながら、家の前を通る子どもたちにあいさつ
○速度を落として安全運転

みんなでつくろう安心のまち



今こそ 1人ひとりの思いやりをカタチに

あなたの小さな行動が、誰かの安心につながります。できることから始めてみませんか？



■問合せ 総務課 ☎23−2119